

これまでの振り返り

前中期経営計画「PROUD 2020」(2018~2020年)

主な施策と実績

1) 競争優位の追求

- ・世界最大の活性炭メーカーであるカルゴン・カーボン社(米国)を買収し、事業拡大を目指して米国既存工場での新炭の設備増強、ベルギー子会社での再生炭の設備増強を決定
- ・タイにおけるイソプレンのプラント投資を決定
- ・光学用ポパールフィルム(日本)、水溶性ポパールフィルム(米国)、PVBフィルム(韓国)やアイオノマーシート(セントリグラス)(米国)などで能力増強投資を実施し、コア事業の利益拡大に貢献

2) 新たな事業領域の拡大

- ・液晶ポリマーフィルム(ベクスター)(日本)で既存設備の能力を増強

- ・バイオマス由来のガスバリア材(PLANTIC)の米国における樹脂生産設備の投資を決定

3) グループ総合力強化

- ・環境ソリューション事業(炭素材料)の統合シナジー推進
- ・人材育成の強化と技術継承を目的とした「研修所」設立
- ・働き方改革の推進

4) 環境への貢献

- ・自然環境に貢献：活性炭事業の拡大
- ・生活環境に貢献：(エパール)、バイオマス由来の(PLANTIC)の強化

2021年度経営計画

主な施策と実績

1) 前中期経営計画「PROUD 2020」で決定した設備投資の着実な実行

- ・イソプレンのタイプラントおよび水溶性ポパールフィルムのポーランド生産拠点の建設推進、カルゴン・カーボン社での活性炭能力増強など主要プロジェクトを着実に推進

2) 環境ソリューション事業(炭素材料)の拡大

- ・組織統合後の一体運営の深化。環境規制の強化に伴う、需要拡大を着実に獲得

3) (エパール)の生産能力増強

- ・需要動向や事業性を精査し、アジア地域を中心に候補地の検討を進行

4) 全社的なデジタル戦略の推進

- ・推進してきたDXに関する取り組みを一層加速するために、2022年1月にグローバルデジタルトランスフォーメーション(GDX)推進室を新設

5) イノベーション創出への取り組み

- ・旧経営企画室マーケティンググループにおいて、事業部を横断した顧客視点でのビジネス創出への取り組みを推進。この取り組みを強化し、グローバルかつ全社的なイノベーション創出のために、2022年1月にイノベーションネットワーキングセンター(INC)を新設

業績および株主還元の推移

	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績
売上高(億円)	6,030	5,758	5,418	6,294
営業利益(億円)	658	542	443	723
営業利益率(%)	10.9	9.4	8.2	11.5
親会社株主に帰属する当期純利益または損失(▲)(億円)	336	▲20	26	373
1株当たり当期純利益または損失(▲)(EPS)(円)	96.05	▲5.66	7.48	108.32

